

# みぬまハウス通信

第16号 2013年8月31日発行  
さいたま市見沼区大和田2-1288-4  
NPO法人 みぬまで暮らす会  
TEL/FAX 048-796-0295  
<http://www.minuma-hausu.net/>

新たな事業の開始に向かって申請中です

## 介護保険事業（訪問介護：身体介護・家事支援）

みぬまハウスでは、介護保険事業を行うため定款の認証手続き中です。実施は本年12月頃になる見込みです。認可があり次第、介護保険によるサービスをご利用いただけます。

## 福祉有償運送事業（移送サービス）

福祉有償運送も手続き中です。みぬまハウスのスタッフが、おひとりで車に乗ることができない方の足となって所定の範囲内の移動の支援をします。利用される方の介護度や移動距離により利用料金が変わりますので、許可が下り次第詳細をお知らせします。これまで外出をためらっていた方も気軽に利用してお出かけしていただけるようになります。

\* 介護保険外の生活支援サービスはこれまで通り行っていきますので、介護保険や移送サービスと併せてご利用ください。



## 公開講座のお知らせ 終活...転ばぬ先の杖

最後まで、友達のいる見沼区で、住み慣れた自宅で暮らすために！

ご自分の老後、他人任せで大丈夫ですか？ 元気ないま、準備しませんか。この「終活」をきっかけに地域の人たちと繋がって、安心な高齢期を楽しく暮らしましょう。\* 講座のカリキュラムは別紙を御覧ください。

場所・時間：見沼区役所1階 多目的室 午後1時30分～3時30分（各回とも）  
参加費：1回200円（資料代）  
申込先：みぬまハウスへ電話またはFaxで 048（796）0295

## 生活支援サービス

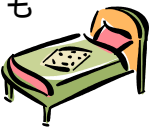
みぬまハウスは、介護保険で賄えない生活のあれこれを会員同士で支え合っています。利用した人は1時間700円を支払います。働いた人は500円を受取り、事務局の活動費として200円を会がいただきます。いつでもサポーター募集中です。あなたも支え合いの仲間になりませんか。

## 生活支援サービスを利用して... 利用された会員さんから感想をいただきました

親戚の結婚式で和歌山に行った時、夫が式の当日に倒れ、和歌山の病院にそのまま入院しました。1週間の滞在予定が1ヶ月余りになり、その時、自宅の飼い猫の世話をお願いしました。ネコが散らかした餌を掃いてくれたり、溜まった新聞を取り込んでくれたり、細かいところまで、気遣ってくれました。会員同士だからお互いよくわかっているし、1時間700円で頼んだ方が気持ちが良いし治まります。組織でキチッとやってくれる方が頼みやすいですね。ご近所さんや古い友達に頼むと気遣いの方が大変な負担になります。(Sさん 70歳 ひとり暮らし 女性)



ベッドの移動をお願いしました。私はみぬまハウスの継続を心配しています。今はまだ、ひとりでも大丈夫ですが、これからもみぬまハウスが続いてくれないと困ります。75歳を過ぎる頃から人の手が必要になってきます。電球の取り替えとか、高い所の作業は無理。自分では取り替えられないから、暗くても我慢してしまう。息子にベッドを移してもらったことや料金のことを知らせたら、安すぎるよと驚いていました。私は3人の子どもたちに「緊急対応ノート」を見せて、緊急時はみぬまハウスをお願いしているからと伝えています。(Fさん 80歳 ひとり暮らし 女性)



栗の木から落下して救急車で運ばれたので、小銭も持たずに入院となってしまう、大変困りました。ひとり暮らしの人に万が一のことが起こったとき、どんなところに支援を頼めるのか、情報がまったくありませんでした。さいたま市の福祉課を通じてみぬまハウスの生活支援サービスを利用することができ、家から必要なものを取ってきてもらい助かりました。退院してから一番困ったのは食料品等の買い物です。両手が松葉杖で塞がって荷物も持てません。健康なときには考えもしなかったことです。現在も毎週一回、買い物に付き添ってもらっています。自分の目で見て買い物ができることは嬉しいことです。半年間お世話になって感じたことですが、これから増々高齢者が増える社会ですから、このような生活支援サービスをしてくれる所がもっと増えて、その情報が市民に行き渡る必要がある、と思いました。(Mさん 65歳 ひとり暮らし 男性)



## 大和田銀座通り商店会のバーベキュー大会に参加しました



仕事が終わって駆け付けた店主さん、家族、店員さんたちで大賑わい。夏の夜のひととき楽しく交流を深めました。キリッと冷えたビールが暑さを吹き飛ばしました。カンパニー!

### 編集後記:

今年は暑さがことのほか厳しいですね。この夏は、身近な人に熱中症になった方が何人もいます。まだまだ暑さは続きそうです。歳をとると、のどの渇きを感じにくくなっています。早めに水分と適当な塩分も忘れずに取りましょう。

